

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2001-54084(P2001-54084A)

【公開日】平成13年2月23日(2001.2.23)

【出願番号】特願平11-225542

【国際特許分類第7版】

H 04 N 7/14

H 04 M 11/02

【F I】

H 04 N 7/14

H 04 M 11/02

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月27日(2004.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体を撮像し該被写体の像に応じた送信画像信号を生成する撮像手段と、

前記撮像手段の鉛直方向を検出する撮像鉛直方向検出部と、

前記撮像鉛直方向検出部の検出結果に基づいて、前記送信画像信号が受信側で鉛直方向の上側となるように前記送信画像信号を処理する送信画像回転手段と、

前記送信画像回転手段により処理された前記送信画像信号を送信する通信手段とを備えることを特徴とする電話装置。

【請求項2】

被写体を撮像し該被写体の像に応じた送信画像信号を生成する撮像手段と、前記送信画像信号を送信する通信手段と、を備えた電話装置において、

前記電話装置の向きを検出する検出手段と、

前記検出手段によって検出された電話装置の向きに基づいて、前記送信画像信号の画像の向きを回転させる回転手段とを備えることを特徴とする電話装置。

【請求項3】

被写体を撮像し該被写体の像に応じた送信画像信号を生成する撮像手段と、前記送信画像信号および受信画像信号を送受信する通信手段と、前記通信手段から受信した受信画像信号に基づき映像情報を表示する表示手段と、備えた電話装置において、

前記電話装置の向きを検出する検出手段と、前記検出手段によって検出された電話装置の向きに基づいて、前記送信画像信号および前記受信画像信号の少なくとも一方における画像の向きを回転させる回転手段とを備えることを特徴とする電話装置。

【請求項4】

前記電話装置の向きを検出する検出手段は、前記撮像手段の鉛直方向を検出する撮像方向検出手段を有してなることを特徴とする請求項3記載の電話装置。

【請求項5】

前記電話装置の向きを検出する検出手段は、前記表示手段の鉛直方向を検出する表示方向検出手段を有してなることを特徴とする請求項3記載の電話装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前述した目的を達成するために、本発明の請求項1は、被写体を撮像し該被写体の像に応じた送信画像信号を生成する撮像手段と、前記撮像手段の鉛直方向を検出する撮像鉛直方向検出部と、前記撮像鉛直方向検出部の検出結果に基づいて、前記送信画像信号が受信側で鉛直方向の上側となるように前記送信画像信号を処理する送信画像回転手段と、前記送信画像回転手段により処理された前記送信画像信号を送信する通信手段とを備えることを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、請求項4に記載したように、前記電話装置の向きを検出する検出手段は、前記撮像手段の鉛直方向を検出する撮像方向検出手段を有してなることを特徴とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項4の電話装置では、撮像方向検出手段により撮像手段の鉛直方向を検出することで、電話装置本体の向きおよび表示手段の向きを決定する。そして、撮像手段の向きに応じて撮像画像を回転させ、また、表示手段の向きに応じて相手側から送られてきた受信画像を回転させる。したがって、電話装置が通話の形態によって様々な向きで使用された場合でも、撮像画像が正常な向きで送信され、また相手側から送られてきた受信画像が正常な向きで表示される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、請求項5に記載したように、前記電話装置の向きを検出する検出手段は、前記表示手段の鉛直方向を検出する表示方向検出手段を有してなることを特徴とするものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項5の電話装置では、表示方向検出手段により表示手段の鉛直方向を検出することで、電話装置本体の向きおよび撮像手段の向きを決定する。そして、撮像手段の向きに応じて撮像画像を回転させ、また、表示手段の向きに応じて相手側から送られてきた受信画像を回転させる。したがって、電話装置が通話の形態によって様々な向きで使用された場

合でも、撮像画像が正常な向きで送信され、また相手側から送られてきた受信画像が正常な向きで表示される。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

本発明によれば、電話装置は、撮像部や表示部の向きによって、撮像画像や受信画像の向きを変更でき、常に適切な画像を送信または表示することが可能な電話装置を提供することができるという効果がある。